小学校実践「異年齢集団活動を充実させよう」の場合

小学校　高学年「能力体系表」

職業的（進路）発達にかかわる諸能力			道徳		学級活動			総合的な学習の時間	
			指導すべき内容項目は，「新小学校学習指導要領　第３章　第２内容」の内容項目の指導の観点に示してある各文を略したものです。		「新小学校学習指導要領　第６章　第２」に示されている内容の中から、キャリア諸能力と関連の深い内容を取り上げ、その内容を指導することで、身に付けさせたいと考える能力・態度を示しています。			各諸能力において，「学習プログラムの枠組み（例）」より，「身に付けることが期待される能力・態度」を身に付けさせたい力として示しています。	
領域	領域説明	能力説明							
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し，自己の個性を発揮しながら，様々な人々とコミュニケーションを図り，協力・共同してものごとに取り組む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め，他者の多様な個性を理解し，互いに認め合うことを大切にして行動していく能力	指導すべき内容項目	1-(6)　個性伸長 2-(2)　思いやり・親切 2-(3)　友情 2-(4)　謙虚な心・広い心 3-(1)　生命の尊重 4-(1)　公徳心・規則尊重・権利義務 4-(2)　公正公平・正義	指導内容	(1)ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決 (1)ウ　学校における多様な集団の生活の向上 (2)ウ　望ましい人間関係の形成		身に付けさせたい力（例）	・自分の長所や欠点に気付き，自分らしさを発揮する。 ・話し合いなどに積極的に参加し，自分と異なる意見も理解しようとする。
					能力・態度	・自分の思いや考えを相手に伝える。 ・自分と異なる考えを理解し、折り合いをつけることができる。 ・話し合って決めたことを協力して実践しようとする。 ・他者と助け合いながら学習や生活をする。 ・互いのよさを発見し違いを認め合う。 ・集団生活のために進んで力を尽くし、リーダーシップを発揮できる。 ・人権を尊重し、温かい人間関係を築こうとする。			
		【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中でコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら，自己の成長を果たしていく能力	指導すべき内容項目	2-(1)　礼儀 2-(2)　思いやり・親切 2-(3)　友情 2-(4)　謙虚な心・広い心 2-(5)　助け合い・感謝 4-(1)　公徳心・規則尊重・権利義務 4-(2)　公正公平・正義 4-(3)　役割・責任 4-(5)　家族愛 4-(6)　愛校心	指導内容	(1)ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決 (1)ウ　学校における多様な集団の生活の向上 (2)ウ　望ましい人間関係の形成		身に付けさせたい力（例）	・思いやりの気持ちをもち，相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し，役割と責任を果たそうとする。
					能力・態度	・話し合って決めたことを協力して実践しようとする。 ・自分と異なる考えを理解し、折り合いをつけることができる。 ・所属する集団に主体的にかかわろうとする。 ・集団生活のために進んで力を尽くし、リーダーシップを発揮できる。 ・互いのよさや可能性を生かした役割分担ができる。 ・人権を尊重し、温かい人間関係を築こうとする。			
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し，幅広く情報を活用して，自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報…	指…	…(5)　真理・創意進取 …(1)　公徳心・規則尊重・権利義務	指導内容	(2)ア　希望や目標を…生きる態度の形成 ・希望や目標を持…き方について考え…		身に付け…	・身近な産業・職業…の変化が分かる。 ・自分に必要な情報…
		…		…節度… …律 …社会奉…		…処理… …こ… …し… …る。		…力（例）	
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え，社会の現実を踏まえ…	【役… 生活・仕事上の多様な役割…	き内容項目	…明朗 2-(5)　助け合い・感謝 4-(1)　公徳心・規則尊重・権利義務	指導内容	(1)イ　学級内の組織づくりや仕事の分担処理 (2)エ　清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解		身に付けさせたい力（例）	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・仕事における役割の関連性や変…

育成したいキャリア諸能力
（重点化するもの）
・自他の理解能力
・コミュニケーション能力

「異年齢集団活動」を軸として関連をもたせる

ここにあげている内容項目の中から、軸とした異年齢集団活動に関連付けて指導した方がよいものを選びます。

特に関連が深いと思われるものは、
　４－（３）　役割・責任
　２－（２）　思いやり・親切
の二つです。
関連付けて指導することで、心情面からアプローチをかけることができ、より充実した指導ができると考えます。

大単元のどこで指導すべきか考えて設定することが大切です。

この枠の中から、軸とした異年齢集団活動に関連付けて指導するのに適した内容を選択します。

特に関連が深いと思われるものは、
　内容（１）ウ　望ましい人間関係の形成
　内容（２）ウ　学校における多様な集団の生活の向上
の二つです。
関連付けて指導することで、身に付けさせたい能力や態度の育成を図ります。
軸とした異年齢集団活動が実践の場となり、より効率的、効果的に指導ができます。

総合的な学習の時間における発表の場（異年齢集団活動）を軸として、大単元を構想しましたので、総合的な学習の時間においても、自他の理解能力とコミュニケーション能力を意識した展開で構成していくことになります。

体験学習（異年齢集団活動）を軸として関連付けて指導することで、総合的な学習の時間における発表の場（体験学習）も、より充実した活動となります。